

静岡大学FSS 2024年度入校生 研究力発展コース
アントレプレナーシップ講座受講の流れ

第1回 2025年7月12日(土) 13:30～16:30
第2回 2025年8月23日(土) 13:30～16:30
第3回 2025年9月15日(月・祝) 13:00～17:00
※12:00浜松駅集合

協力：公益財団法人 静岡県産業振興財団
スター精密株式会社
NACOL株式会社
パイフォトンクス株式会社
浜松ホトニクス株式会社
光産業創成大学院大学
株式会社浜松ホトアグリ

講座の趣旨

研究者や科学技術者が自分の研究を世の中に送り出す方法はいくつかあります。

- ①学会発表、論文発表、特許取得
- ②企業や機関内での製品化、事業化
- ③起業

社会課題の解決方法として自分の考え方を直接投影できる③の起業という選択をする人が、近年、私たちの周りにも徐々に増えてきました。そして起業家の行動原理を表す「アントレプレナーシップ」という言葉が聞かれるようになってきました。

この「アントレプレナーシップ」は、自分自身で起業するだけでなく、企業で新しい製品を開発したり、公的機関で新規事業を興したり、組織改革を行ったりするときにも必要となる概念です。

そして「アントレプレナーシップ」は、経済活動だけでなく、科学者が社会貢献をする場面でも必要になってきました。そのような背景を受けて、<文部科学省アントレプレナーシップオフィシャルサイト>では、「アントレプレナーシップ」を次のように定義しています。

「自ら枠を超えて行動を起こし、新たな価値を生み出していく精神」

1

事前課題

自分が研究で扱っている分野の概念、理論、技術の中から社会実装に転用可能な要素を抽出し、起業や社会普及のプランをつくる。

まずは、課題設定をします。

※「誰」は何らかの課題を解決してあげたいと思うひとりの人物を思い描く

- | | |
|-------------------------|--------------------|
| ①誰の問題を解決をしようとするか？ | ②その人はどのような状況にあるのか？ |
| ③解決するとどうなるのか？何が可能になるのか？ | ④そのために自分ができることは何か？ |

皆さんは、これまで「海外大学生との交流」「放任竹林問題」の2つのワークショップを通して、どんなところに社会課題が存在するかを知ることができました。

また、その社会課題は見慣れた景色の中に紛れていて、そこに人間社会が関わってくことで、より複雑な姿になっていることも知りました。

そんな解決困難な課題に取り組む時、皆さんの「**6つのつなげる力**」を活用してみましょう。

選んだ課題を元に、起業プランのピッチ(短いプレゼン)を考えてみましょう。

ここでは、「起業によって解決する」という設定をしてみましょう。

開発した製品を売るという営利事業でも、無償のサービスを提供する非営利事業でも、そのプランを成り立たせるためのしくみを設計することは重要です。

まずは「不完全でもよいから提案してみる」というのがアントレプレナーシップの大事な点です。

2

第1回目 2025年7月12日(土) 13:30～16:30 「研究成果を社会に送り出す」

協力：公益財団法人 静岡県産業振興財団
スター精密株式会社
NACOL株式会社
バイフォトンクス株式会社

3グループ 各6人

プレゼンテーション
(グループ毎)13:30～14:30

起業プランの設計
14:30～15:30

全体会
15:30～16:30

グループごと

発表3分/人

質疑7分/人

講師との討論
起業プラン再考(60分)

情報共有
30分

講演 30分
「アントレプレナーシップとは」
講師：バイフォトンクス株式会社
池田貴裕氏

第1回のゴールは「自己理解」です。

・自分は何ができるのか？
・自分は何がやりたいのか？
・気づいていないことがあるのでは？

より「できそうな」プランにする。
要注意なのが事業規模です。壮大すぎてどこから手を付けてよいか見通しが立たないプランは、サイズダウンをしてください。

調べる。家族や友達の意見を聞く。

プロトタイプを作る。 模型やイラストでもよいので、一度、形にしてみましょう。
プレゼンで披露してください(写真可)

第2回目 2025年8月23日(土) 13:30～16:30 「起業プランの提案」

振り返り
16:10～16:30

13:30～14:20

14:25～15:15

15:20～16:10

発表(全員)

発表5分/人

質疑3分/人

討論(20分)

発表5分/人

質疑3分/人

討論(20分)

発表5分/人

質疑3分/人

討論(20分)

振り返り
20分

6人

6人

5人

3

第3回目 2025年9月15日(月・祝) 13:00～17:00 「起業家の行動様式と意思決定」

会場：浜松ホトニクス社中央研究所 ※浜松駅12:00集合 バスで移動

協力：浜松ホトニクス株式会社
光産業創成大学院大学
株式会社浜松ホトアグリ

この回は、次のようなプログラムを予定しています。

①浜松ホトニクスの研究の紹介

②講義 アントレプレナーシップの基本理論について

③講義 浜松ホトアグリ社の起業理念や経緯について

④ワークショップ 起業家の行動分析

浜松は、昭和の初めから自動車産業など、活発に起業が行われてきた地域です。

静岡大学も、高柳健次郎氏のテレビジョンの開発を皮切りに、浜松の活発な産業活動に貢献しています。

浜松ホトニクス社は、光を応用した高い技術で、医療、環境、エネルギー問題など多様な分野に貢献している企業です。また有名な光電子増倍管は、ノーベル賞を受賞する研究に寄与し、物理学の発展を支えています。

同時に、浜松ホトニクス社は地域の起業家育成も盛んに行っています。

この回は、起業家の行動を理論的に分析し3回の講座のまとめの回とするとともに、科学技術者の生み出す質の高い製品が、科学の発展や社会課題の解決に大きく貢献している姿を実地で見る機会です。

4

2